

## 市民の声 改善例 一覧

番 号	声の内容	回答内容	担当課
1	全国的にもまだ、不育症の治療に対して助成をしている自治体は少ないが、沼津市でぜひ実施してほしい。 ※不育症：妊娠するも、流産、死産等を繰り返してしまう状態	不育症治療を行っている夫婦の経済的な負担を軽減し、出生率の向上に繋げていけるよう、治療費の一部を助成することとしました。（所得制限があります）。	健康づくり課
2	現在、パブリック・コメント資料の閲覧場所は、市の担当課、市民相談センター、各市民窓口事務所だけだが市立図書館にも設置することを提案する。	ご提案を踏まえ、パブリック・コメント実施に際しましては市民の皆様への利便性向上を図るため、新たに市立図書館を閲覧場所とすることといたしました。	市民協働課
3	観光情報（パンフレット）がダウンロード可能となっているのであれば、単一ファイルにさせていただいた方が生きた情報になると思う。 沼津に行く前に個別ページ毎の情報を取捨選択できるほど知識がなく、ダウンロードして持っていくのを断念した。タブレットで旅の途中で読んでいこうと楽しみにしていただけに残念。	市HPに掲載しているPDFデータは、どなたでも素早く閲覧できるよう、掲載データの容量を2MB程度にしてきた経緯があり、観光情報についても同様の対応を行ってきました。 いただいたご意見を参考に関係課と協議した結果、ホームページ利用者のさらなる利便性向上を図るため、現状の個別データのほかに一括ダウンロードも可能となるよう改善いたしました。	観光交流課
4	11月は世界糖尿病月間である。今、4人に1人が糖尿病に関係しているそうで、各地でブルーライトアップが行われる。沼津でも、市役所や御成橋などをブルーライトアップして市民各自の認識を高めてほしいと思う。	今回のご意見を参考に、市内施設においてライトアップが可能な施設を検討した結果、沼津観光協会の協力を得て、糖尿病予防週間に「びゅうお」のブルーライトアップを実施することといたしました。 今後も、今回のご意見を参考に「びゅうお」をライトアップし市民各自に糖尿病の撲滅を意識していただけるよう努めてまいります。	健康づくり課
5	プラサヴェルデ内のトイレの出入り口は「開き戸」を採用しているようだが、ドアのデザイン的に「引き戸」のようにも見えらる。扉の部分に「PUSH」or「PULL」などとシールを貼ってもらえないか。	プラサヴェルデ管理者と調整し、トイレの扉部分にシールを貼ることとしました。 今後もプラサヴェルデの利便性向上を図り、利用しやすい施設運営に努めてまいります。	観光交流課
6	又吉直樹「火花」を所有しているが、沼津市で「寄贈していただきたい本」の中に、この火花が掲載されていた。沼津市の場合、寄贈の受付は沼津市立図書館及び沼津市立戸田図書館だけであるが、本当に切実に寄贈を求めるのであれば、寄贈者の距離的利便性に配慮し、沼津市の公共施設での受け付けを可能にする方法も一案だと思う。	ご提案いただきました予約の多い本の寄贈につきましては、お住まいの地域に近く、既に図書館業務を行っている、市内15か所の地区センターでの受け入れることとし、28年2月から受け入れを開始しました。	市立図書館